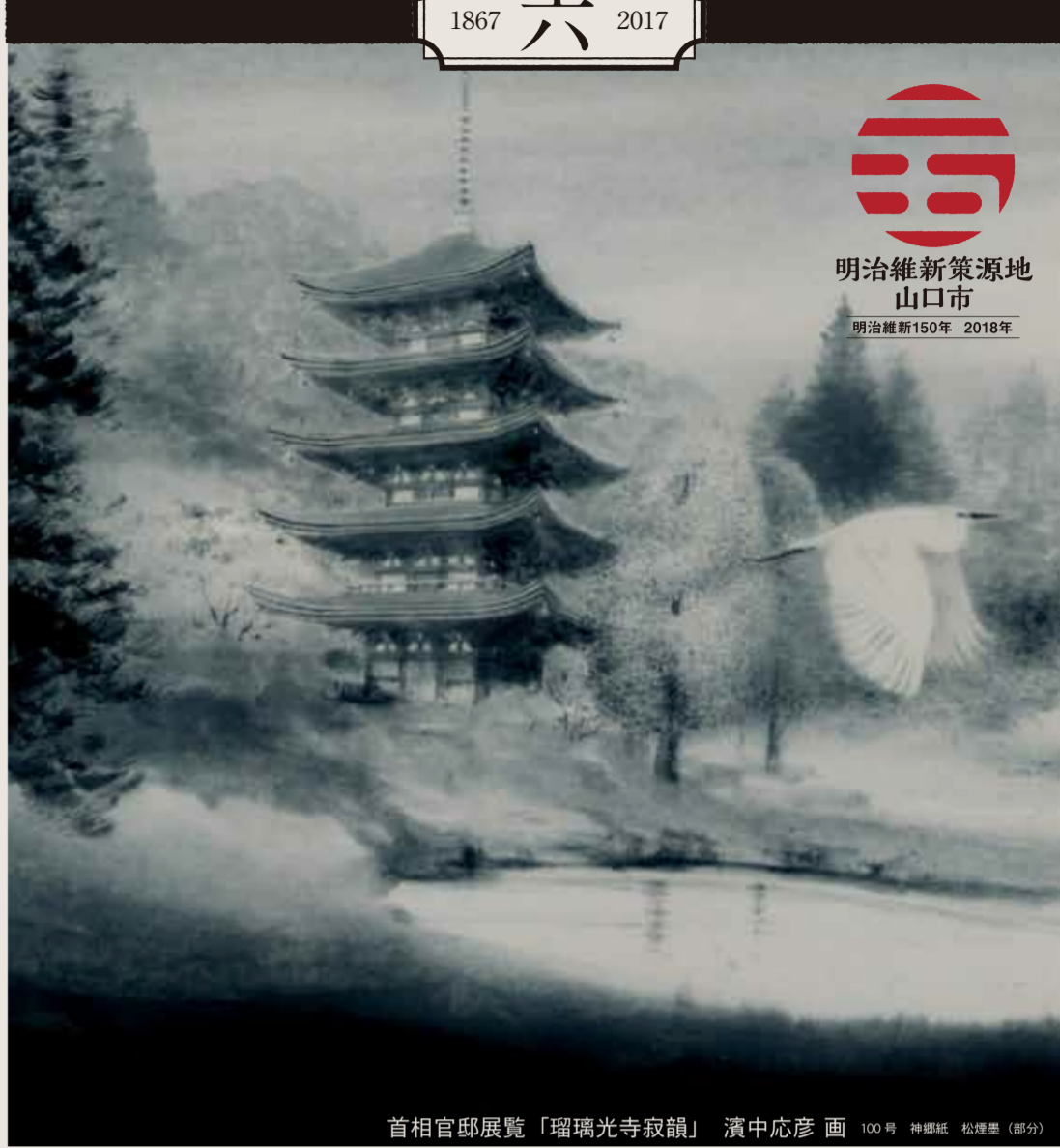




明治維新発祥地
山口市
明治維新150年 2018年

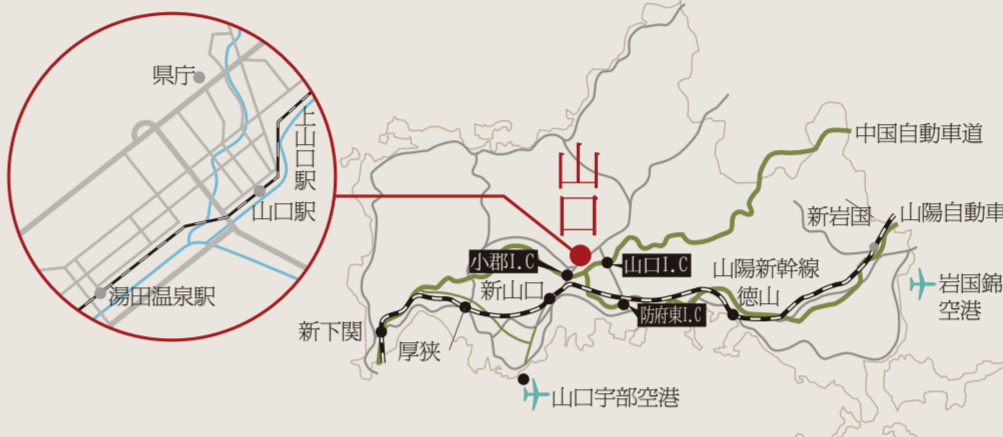
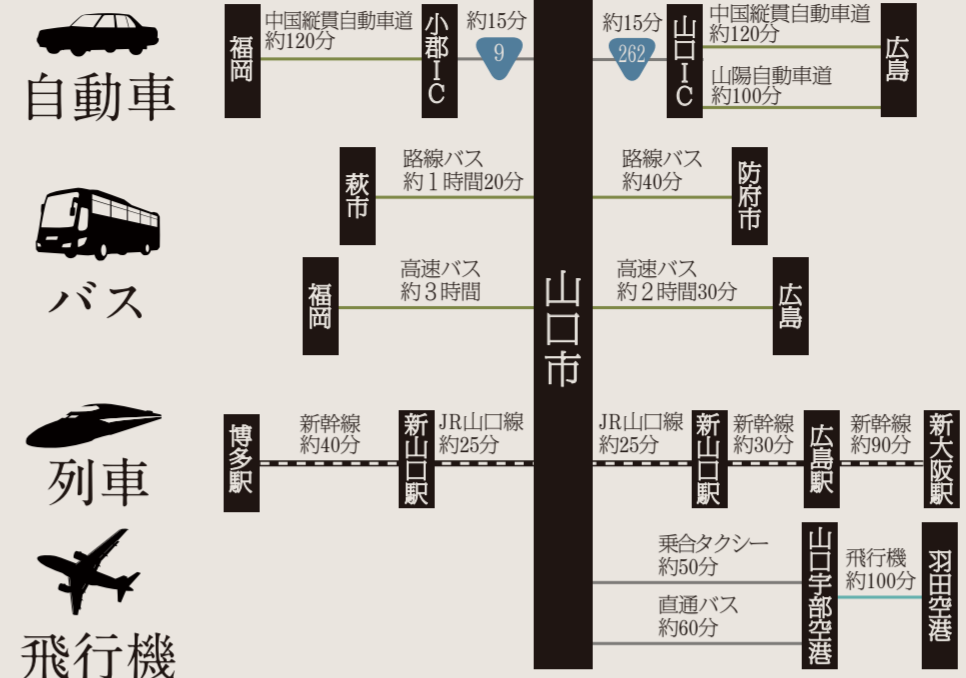


首相官邸展覧「瑞光寺双龍」 濱中彦彦 画(向) 神田 恒雄(左) 山本 啓(右)

明治元年から数えて150年という記念すべき2018年に向け、
維新の発祥地となった山口で、建造物やお宝を一挙公開。
パワーを体感できる「山口お宝展」、いよいよ開幕です。

山口お宝展

2017年10/1(日)～10/31(水) 大殿・白石・湯田地区周辺



- 大隅(おおすみ)タクシー TEL 083-922-0860
- いさむや第一交通 TEL 0120-39-1368
- 中司タクシー TEL 083-922-0812
- スミスハイヤー TEL 083-922-1881
- 湯田都タクシー TEL 083-922-0232
- 山野タクシー・山口交通 TEL 0120-501-940
- フラワータクシー TEL 083-928-2878

主催 山口商工会議所 明治維新150年記念事業実行委員会 後援 山口市
問い合わせ 山口商工会議所 TEL 083-925-2300 <http://otakaraten.com/>



山口の歴史食代表! 「大内御膳」

全国各地の「歴史的なストーリーを有した価値ある食」を、我々は「歴史食」と名付けました。山口の歴史食代表は「大内御膳」。10代将軍足利義満は、重臣細川氏のクーデターにより、京都を追われ、西国最大の大名である山口の大内義興を頼ります。義興は義経を(現・龍福寺)に招き、盛大な宴でもてなします。その献立記録が、明応九年三月五日将軍御成難筆注文』です。献立には、32膳、110品以上の料理が記録され、当時日本最大の宴でした。その再現したもののが「大内御膳」です。当時なかった調味料は使用せず、室町時代の味を忠実に再現しています。豪華を誇った大内氏の心意気と雅を、「大内御膳」を通じて体験してください。

- (要予約)
- A 防長苑 TEL 083-922-3555
- B 山水園 TEL 083-922-0560
- C 西の雅常盤 TEL 083-922-0091
- ◆大内弘世コース 15,000円
- ◆大内義興コース 5,000円
- ◆大内御膳弁当 3,000円
- ◆D 限定弁当 2,000円

企画展「山口の歴史食～大内氏のおもてなしと幕末志士の大好物」

D 山口市菜香亭
9.1(金)・11.30(水)9:00～17:00
火曜日休館
観覧料(含大広間見学):大人100円 小人50円

山口における室町時代の食と幕末の食についての企画展です。歴史上の人物が食べた料理を紹介します。



ジャパネスク ～とどけよう花の力～

D 山口市菜香亭
10.7(土)～10.9(月・祝)9:00～17:00
観覧料(含大広間見学):大人100円 小人50円
『書・花・習物・お茶・菜香亭がお届けする和のおもてなし』です。菜香亭のしつらえの中で日本文化を楽しんでください。
池坊花展
10.8(日)～10.9(月・祝)9:00～17:00
きもの・幕末志士体験
10.7(土)～10.9(月・祝)9:00～15:00
◆料金 各1,500円・2,500円
キモノカフェ
10.7(土)～10.9(月・祝)9:00～15:00
◆料金 400円◆抹茶・珈琲・紅茶(お菓子付き)

大政奉還150年記念講演会 『幕の密約か錦の御旗製作へ』

D 山口市菜香亭
10.14(土)18:00～20:00
10月14日は大政奉還が行われて150年目です。講演会では、大政奉還と、それに對する長州藩へ下された御旗の密約、一の坂川の護衛跡での錦の御旗製作までの経緯および錦の御旗が戊辰戦争に果たした大きな役割についてお話しします。
■会場 山口市菜香亭 大広間
■参加料 200円
■定員 70名(要予約:電話受付)
■講師 山口良昌(毛利博物館顧問)
■申込・問い合わせ
山口市菜香亭 ☎ 083-934-3312



維新 de コスプレ

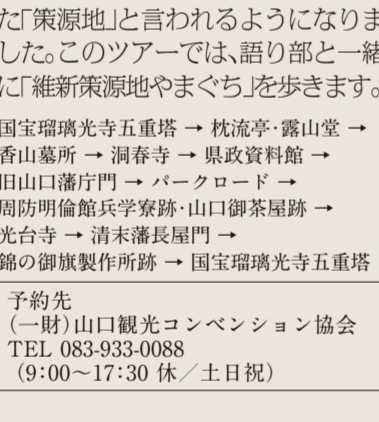
E 大路ロビー
利用時間 10:00～17:00
大層休館(祝日の場合は翌平日)
利用料金 30分 200円
2時間 500円
幕末志士のコスプレ衣装をレンタルして、街並をお散歩しませんか。服の上から着られる簡単な着物風衣装です。久坂玄瑞風甲冑や、高杉晋作風の羽織はかま、こども用もありません。



維新策源地ウォーク

F 国宝瑠璃光寺五重塔
2018年3月までの土・日・祝日
(年末年始は除く)※1週間前までに要予約
集合時間 13:00(7・8・9月は9:00)
最少催行人数 2名
料金 お1人様500円(語り部ガイド料込み)
行程 約5km(約3時間)
1863(文久3年)秋、萩から藩行が移譲してきた山口には、政事堂や藩の教育機関などとともに、多くの志士たちが各地から集まり、抗藩に向けて密議を交わし、力をつけていきました。そのことから、山口は明治維新を支えた「策源地」と言われるようになりました。このツアーでは、語り部と一緒に「維新策源地やまぐち」を歩きます。
国宝瑠璃光寺五重塔 → 枕流亭・露山堂 → 香山墓所 → 洞春寺 → 県政資料館 → 田口藩御門 → バックロード → 田防備備兵学寮跡・山口御茶屋跡 → 光台寺 → 清末藩長屋門 → 錦の御旗製作所跡 → 国宝瑠璃光寺五重塔

1863(文久3年)秋、萩から藩行が移譲してきた山口には、政事堂や藩の教育機関などとともに、多くの志士たちが各地から集まり、抗藩に向けて密議を交わし、力をつけていきました。そのことから、山口は明治維新を支えた「策源地」と言われるようになりました。このツアーでは、語り部と一緒に「維新策源地やまぐち」を歩きます。



企画展Ⅱ(前期) 「コミックのなかの中也」

G 中原中也記念館
10.4(水)～12.1(日)9:00～18:00
(入館は17:30まで)
10月10日、16日、23日、30日、31日休館
本展では、中原中也や中也の詩が物語的に深く関わるコミックの内容と見所について紹介します。同じ「中原中也」を扱っていても、作者によってアプローチが全く異なります。コミックを通じて中也および中也の詩の魅力に触れることができます。
企画展Ⅱ(後期)
H 山口県立美術館
10.20(金)～12.10(日)9:00～17:00
(入館16:30まで)
月曜日休館(ただし11月6日、12月4日は開館)
観覧料:一般1,300円(1,100円)
シニア・学生1,100円(900円)
18歳以下無料
※シニアは70歳以上の方。(1)内は販売および20名以上の団体料金。
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方は無料。
※障害者手帳等を2持参の方との介助の方1名は無料。

中原中也没後80年 中也忌 G 中原中也記念館、湯田温泉 10.22(日)

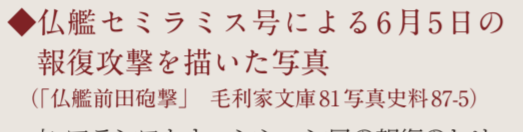
1937年10月22日、30歳で夭折した中也は、現在、山口市吉敷の経塚(きんづか)の墓地で静かに眠っています。中原中也没後80年の節目となる今年、中也を追悼する「中也忌」を開催します。いずれも参加無料で、当日は中原中也記念館も入館無料です。※内容は変更になる場合があります。
10月22(日)
中原中也記念館 無料開館日
13:00～14:00
墓前祭(お墓参り) 会場:経塚墓地
17:00～18:00
ぼろしの詩人貴族装束&入選作品朗読会 会場:中原中也記念館(予定)
18:30～19:30
中也に贈るタバ 会場:中原中也記念館
上利千富美氏によるアイリッシュ・ハーブのコンサート



文久3年の攘夷決行と列国の報復

H 山口県文書館
9.30(土)～10.29(日)9:00～17:00
毎週月曜・祝日
◆米艦ワイオミング号が6月1日に下関で報復攻撃を行ったときの様子を示す絵図(毛利家文庫29風説16「新聞紙」)

文久3年(1863)の5月10日、長州藩は馬関海峡を通過した米商船ペンブローック号に対して砲撃を加え、続いて23日には仏艦、26日には長年の友好国であったオランダの艦隊に対しても砲撃を加えました。米仏はただちに報復行動に出、米艦ワイオミング号は6月1日に下関に迫りました。この絵図は、その下関に迫った様子を描いたものです。その日下関には、長州藩がイギリスから買得していた蒸気船壬戌丸・ブリック船癸亥丸のほか、萩で建造したパーク船庚申丸等がいましたが、ワイオミング号の攻撃で壬戌丸と庚申丸が撃沈され、癸亥丸は大破しました。
◆仏艦セミラミス号による6月5日の報復攻撃を描いた写真
〔仏艦前田砲撃〕毛利家文庫81写真史料87-5)
一方、フランスもキャンション号の報復のため、セミラミス号とタンクレード号の2艦が6月1日に横浜を出発、同5日黎明に下関に迫りました。長州藩の戦艦は先の戦いで壊滅状態にあったため、仏艦は下関の前田砲台を砲撃して沈黙させ、上陸して砲身を無力化するともに、民家を押して去りました。この写真の元の絵は、ベルサイユ宮殿にあったものを、明治44年にフランスに渡航した乃木希典が写真を手に入れ、長府毛利家に寄贈したものだそうです。



ガラス盃 大村益次郎拝領

I 山口県立山口博物館
10.3(火)～10.29(日)9:00～16:30
(入館16:00まで)
毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は翌火曜日)
文久2年(1862)大村益次郎が江戸藩邸で藩主毛利家親から拝領したガラス盃。萩城南園の製菓局内に設置した硝子製造所の作品。



重要文化財「不輪明王立像」(山口・長門国分寺)

創建1250年記念 奈良 西大寺展 一叡尊と一門の名宝

K 山口県立美術館
10.20(金)～12.10(日)9:00～17:00
(入館16:30まで)
月曜日休館(ただし11月6日、12月4日は開館)
観覧料:一般1,300円(1,100円)
シニア・学生1,100円(900円)
18歳以下無料
※シニアは70歳以上の方。(1)内は販売および20名以上の団体料金。
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方は無料。
※障害者手帳等を2持参の方との介助の方1名は無料。

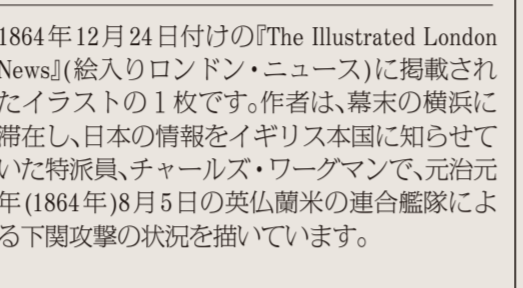
第39回企画展 「40年の歩み～館蔵名品展～」

「千字文」音義木簡(奈良時代)
竹皮製網代製品(弥生時代)
滑石製模造品(古墳時代)等
L 山口大学埋蔵文化財資料館
10.2(月)～2.2(金)9:00～17:00
土・日・祝日休館※10月28日(土)は臨時開館
◆「千字文」音義木簡(奈良時代)
※10月28日(土)のみ実物展示。他日はレプリカ展示
平成27年4月、吉田キャンパス(吉田遺跡)において実施した発掘調査で、全国で5例目となる音義木簡(おんぎもっかん)が出土しました。
音義木簡とは、書物の中から漢字・漢語を抜き出して、万葉仮名による和訓(読み方)を注書きした木簡のことです。
書かれている文字の原典は、6世紀前半に成立した中国の初等教育の習字教科書である『千字文(せんじもん)』であることが判明しています。『千字文』とは、四字句の韻文(いんぶん)・一定の規則に則って書き表された文)が250句つらなる重複しない1,000の漢字からなる書籍で、中国ばかりでなく近隣諸国で用いられました。
日本では7世紀から千字文の音義木簡が見られますが、漢字の読みを記した「千字文」音義木簡は当資料が唯一の存在です。



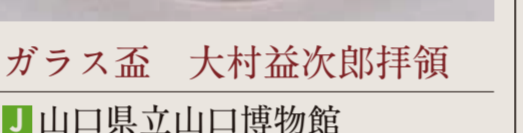
「下関戦争における連合艦隊上陸図」

M 山口県立山口図書館
9.30(土)～10.29(日)9:00～19:00
(こどもともよしつ及び土・日・祝は17:00まで)
月曜日、月末閉館日(10月31日(火))休館
1864年12月24日付けの『The Illustrated London News』(絵入りロンドン・ニュース)に掲載されたイラストの1枚です。作者は、幕末の横浜に滞在し、日本の情報をイギリス本国に知らせていた特派員、チャールズ・ワークマンで、元治元年(1864年)8月5日の英仏蘭米の連合艦隊による下関攻撃の状態を描いています。



明治初期の医学書及びその版木

N 山口大学総合図書館
10.2(月)～3.14(水)
平日8:30～21:45、土日祝日11:15～18:45
10月1(日)・10月22(日)休館
『厄氏医鑑』(にしいかん)は明治8年に刊行された医学書です。プロシヤのニーマールの著書を福田正二が翻訳したものです。福田正二は、府にあって華南医学学校(明治7年～明治10年)で副校長を務め、その廃校後も医学教育に尽力しました。福田正二は『厄氏医鑑』の他にも、原書を盛んに翻訳しており、これらは明治初期の医学教育に使用されました。今回の展示では、刊本とあわせてその版木も公開します。版木はこれまで福田家で保管されていたものを、この度ご寄贈いただきました。明治初期の医学教育や出版・印刷史の一端に触れることのできる貴重な資料です。



ガラス盃 大村益次郎拝領

O 山口県立山口博物館
10.3(火)～10.29(日)9:00～16:30
(入館16:00まで)
毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は翌火曜日)
文久2年(1862)大村益次郎が江戸藩邸で藩主毛利家親から拝領したガラス盃。萩城南園の製菓局内に設置した硝子製造所の作品。



重要文化財「不輪明王立像」(山口・長門国分寺)

創建1250年記念 奈良 西大寺展 一叡尊と一門の名宝

奈良時代、聖武天皇の娘、称徳天皇が「鎮護国家」を願って建立した西大寺。平城京においては東大寺などと並び称される寺格を誇りました。本展では、西大寺と全国各地に広がった真言律宗ゆかりの寺院に伝わる、彫刻・絵画・工芸品など優れた仏教美術を紹介し、山口県内からも中近世に西大寺の末寺であった国分と長門の国分寺より貴重な宝物が出品されます。



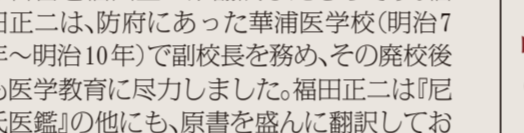
「下関戦争における連合艦隊上陸図」

1864年12月24日付けの『The Illustrated London News』(絵入りロンドン・ニュース)に掲載されたイラストの1枚です。作者は、幕末の横浜に滞在し、日本の情報をイギリス本国に知らせていた特派員、チャールズ・ワークマンで、元治元年(1864年)8月5日の英仏蘭米の連合艦隊による下関攻撃の状態を描いています。



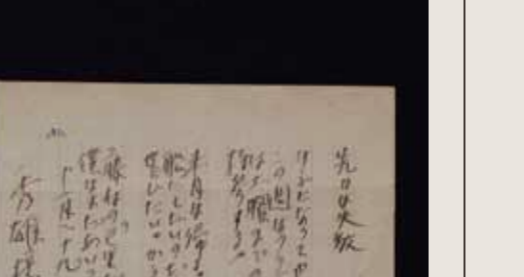
明治初期の医学書及びその版木

N 山口大学総合図書館
10.2(月)～3.14(水)
平日8:30～21:45、土日祝日11:15～18:45
10月1(日)・10月22(日)休館
『厄氏医鑑』(にしいかん)は明治8年に刊行された医学書です。プロシヤのニーマールの著書を福田正二が翻訳したものです。福田正二は、府にあって華南医学学校(明治7年～明治10年)で副校長を務め、その廃校後も医学教育に尽力しました。福田正二は『厄氏医鑑』の他にも、原書を盛んに翻訳しており、これらは明治初期の医学教育に使用されました。今回の展示では、刊本とあわせてその版木も公開します。版木はこれまで福田家で保管されていたものを、この度ご寄贈いただきました。明治初期の医学教育や出版・印刷史の一端に触れることのできる貴重な資料です。



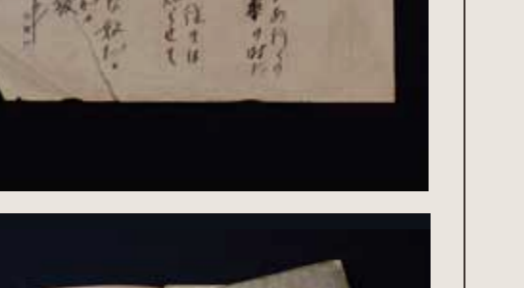
ガラス盃 大村益次郎拝領

O 山口県立山口博物館
10.3(火)～10.29(日)9:00～16:30
(入館16:00まで)
毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は翌火曜日)
文久2年(1862)大村益次郎が江戸藩邸で藩主毛利家親から拝領したガラス盃。萩城南園の製菓局内に設置した硝子製造所の作品。



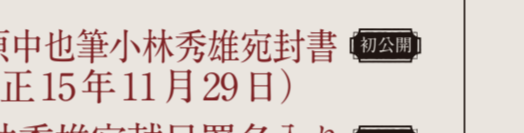
「下関戦争における連合艦隊上陸図」

1864年12月24日付けの『The Illustrated London News』(絵入りロンドン・ニュース)に掲載されたイラストの1枚です。作者は、幕末の横浜に滞在し、日本の情報をイギリス本国に知らせていた特派員、チャールズ・ワークマンで、元治元年(1864年)8月5日の英仏蘭米の連合艦隊による下関攻撃の状態を描いています。



明治初期の医学書及びその版木

N 山口大学総合図書館
10.2(月)～3.14(水)
平日8:30～21:45、土日祝日11:15～18:45
10月1(日)・10月22(日)休館
『厄氏医鑑』(にしいかん)は明治8年に刊行された医学書です。プロシヤのニーマールの著書を福田正二が翻訳したものです。福田正二は、府にあって華南医学学校(明治7年～明治10年)で副校長を務め、その廃校後も医学教育に尽力しました。福田正二は『厄氏医鑑』の他にも、原書を盛んに翻訳しており、これらは明治初期の医学教育に使用されました。今回の展示では、刊本とあわせてその版木も公開します。版木はこれまで福田家で保管されていたものを、この度ご寄贈いただきました。明治初期の医学教育や出版・印刷史の一端に触れることのできる貴重な資料です。



ガラス盃 大村益次郎拝領

O 山口県立山口博物館
10.3(火)～10.29(日)9:00～16:30
(入館16:00まで)
毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は翌火曜日)
文久2年(1862)大村益次郎が江戸藩邸で藩主毛利家親から拝領したガラス盃。萩城南園の製菓局内に設置した硝子製造所の作品。



「下関戦争における連合艦隊上陸図」

1864年12月24日付けの『The Illustrated London News』(絵入りロンドン・ニュース)に掲載されたイラストの1枚です。作者は、幕末の横浜に滞在し、日本の情報をイギリス本国に知らせていた特派員、チャールズ・ワークマンで、元治元年(1864年)8月5日の英仏蘭米の連合艦隊による下関攻撃の状態を描いています。



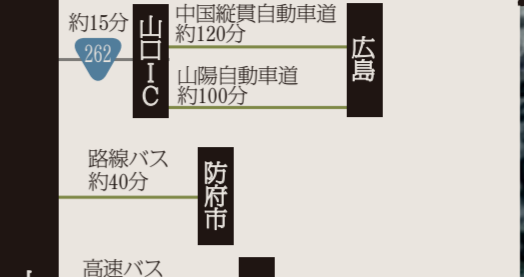
明治初期の医学書及びその版木

N 山口大学総合図書館
10.2(月)～3.14(水)
平日8:30～21:45、土日祝日11:15～18:45
10月1(日)・10月22(日)休館
『厄氏医鑑』(にしいかん)は明治8年に刊行された医学書です。プロシヤのニーマールの著書を福田正二が翻訳したものです。福田正二は、府にあって華南医学学校(明治7年～明治10年)で副校長を務め、その廃校後も医学教育に尽力しました。福田正二は『厄氏医鑑』の他にも、原書を盛んに翻訳しており、これらは明治初期の医学教育に使用されました。今回の展示では、刊本とあわせてその版木も公開します。版木はこれまで福田家で保管されていたものを、この度ご寄贈いただきました。明治初期の医学教育や出版・印刷史の一端に触れることのできる貴重な資料です。



ガラス盃 大村益次郎拝領

O 山口県立山口博物館
10.3(火)～10.29(日)9:00～16:30
(入館16:00まで)
毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は翌火曜日)
文久2年(1862)大村益次郎が江戸藩邸で藩主毛利家親から拝領したガラス盃。萩城南園の製菓局内に設置した硝子製造所の作品。



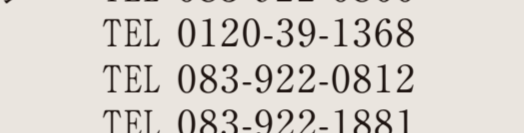
「下関戦争における連合艦隊上陸図」

1864年12月24日付けの『The Illustrated London News』(絵入りロンドン・ニュース)に掲載されたイラストの1枚です。作者は、幕末の横浜に滞在し、日本の情報をイギリス本国に知らせていた特派員、チャールズ・ワークマンで、元治元年(1864年)8月5日の英仏蘭米の連合艦隊による下関攻撃の状態を描いています。



明治初期の医学書及びその版木

N 山口大学総合図書館
10.2(月)～3.14(水)
平日8:30～21:45、土日祝日11:15～18:45
10月1(日)・10月22(日)休館
『厄氏医鑑』(にしいかん)は明治8年に刊行された医学書です。プロシヤのニーマールの著書を福田正二が翻訳したものです。福田正二は、府にあって華南医学学校(明治7年～明治10年)で副校長を務め、その廃校後も医学教育に尽力しました。福田正二は『厄氏医鑑』の他にも、原書を盛んに翻訳しており、これらは明治初期の医学教育に使用されました。今回の展示では、刊本とあわせてその版木も公開します。版木はこれまで福田家で保管されていたものを、この度ご寄贈いただきました。明治初期の医学教育や出版・印刷史の一端に触れることのできる貴重な資料です。



ガラス盃 大村益次郎拝領

O 山口県立山口博物館
10.3(火)～10.29(日)9:00～16:30
(入館16:00まで)
毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は翌火曜日)
文久2年(1862)大村益次郎が江戸藩邸で藩主毛利家親から拝領したガラス盃。萩城南園の製菓局内に設置した硝子製造所の作品。



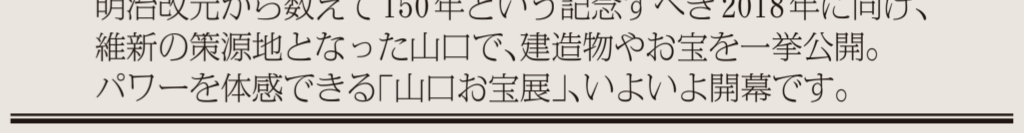
「下関戦争における連合艦隊上陸図」

1864年12月24日付けの『The Illustrated London News』(絵入りロンドン・ニュース)に掲載されたイラストの1枚です。作者は、幕末の横浜に滞在し、日本の情報をイギリス本国に知らせていた特派員、チャールズ・ワークマンで、元治元年(1864年)8月5日の英仏蘭米の連合艦隊による下関攻撃の状態を描いています。



明治初期の医学書及びその版木

N 山口大学総合図書館
10.2(月)～3.14(水)
平日8:30～21:45、土日祝日11:15～18:45
10月1(日)・10月22(日)休館
『厄氏医鑑』(にしいかん)は明治8年に刊行された医学書です。プロシヤのニーマールの著書を福田正二が翻訳したものです。福田正二は、府にあって華南医学学校(明治7年～明治10年)で副校長を務め、その廃校後も医学教育に尽力しました。福田正二は『厄氏医鑑』の他にも、原書を盛んに翻訳しており、これらは明治初期の医学教育に使用されました。今回の展示では、刊本とあわせてその版木も公開します。版木はこれまで福田家で保管されていたものを、この度ご寄贈いただきました。明治初期の医学教育や出版・印刷史の一端に触れることのできる貴重な資料です。



ガラス盃 大村益次郎拝領

O 山口県立山口博物館
10.3(火)～10.29(日)9:00～16:30
(入館16:00まで)
毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は翌火曜日)
文久2年(1862)大村益次郎が江戸藩邸で藩主毛利家親から拝領したガラス盃。萩城南園の製菓局内に設置した硝子製造所の作品。

feature 特集 国宝瑠璃光寺五重塔 内陣公開



室町時代に栄華を極めた大内文化の最高傑作。山口お宝展期間限定で、5年ぶりに内陣を特別公開致します。

F 国宝瑠璃光寺五重塔 10.1(日)・8(日)・15(日)・22(日)・29(日) 各日9:00～17:00

1442年に建立。全国に現存する五重塔のうちで10番目に古く、美しさは日本三名塔の一つに数えられており、室町中期における最も秀でた建造物と評されています。また、輪皮葺屋根回りも必見です。
この国宝、五重塔は観光山口のシンボルとして板や楓の裏山を背に、大内文化を優雅に伝えています。また、夜間は日没から22:00までライトアップされ、夜も見どころの一つです。



企画展「観光山口いまむかし 一名所絵からやまぐち幕末ISHIN祭まで」
8月11日(金)～10月15日(日)
山口市内には、さまざまな観光名所や土産物があり、毎年国内外から多くの人が観光に訪れます。こうした現在の観光地の姿が形成されるまでには、史跡の顕彰が行われたり、名勝が保護されたたり、名産品の開発や改良がされたりと、それぞれの時代の人々が工夫を凝らしてきた歴史があります。今回の展示では、近世後期の名所絵から現在のやまぐち幕末ISHIN祭までの歴史を、当館所蔵品を中心に振り返ります。

M 山口市歴史民俗資料館 10.1(日)～10.15(日)9:00～17:00 (受付は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌日休館)

History 歴史年表

2018	2017	2017	2016	2015	2015	2014	2014	1868	1867	1866	1865	1864
10月/六	10月/六	2月/五	2月/四	10月/参	2月/武	12月/世	2月/号外	明治元年	慶応3年	慶応2年	慶応元年	元治元年
<p>ガイドペーパーのバックナンバーは山口お宝展公式サイトからダウンロードできます。 http://otakaraten.com/</p> <p>特集 歴史の大きな転換点 薩長同盟 城郭都市山口の護り</p>	<p>明治維新150年 山口お宝展</p> <p>ガイドペーパーのバックナンバーは山口お宝展公式サイトからダウンロードできます。 http://otakaraten.com/</p> <p>特集 歴史の大きな転換点 薩長同盟 江ノ橋田原の用材を運漕</p>	<p>特集 歴史の大きな転換点 薩長同盟 山口新御旗形(山口城)の建物には、</p>	<p>山口新御旗形の実像は最新鋭の西洋式城郭</p>	<p>山口新御旗形(山口城)の破損 第一次修築が完了、敬親初入城</p>	<p>第二次修築が完了、敬親初入城</p>	<p>幕府、幕府の長州再征を許す。</p>	<p>幕府、幕府の長州再征を許す。</p>					